

# 本日のスケジュール

時間	場所	内容
9:00	青灯台	・集合、挨拶、事前説明次第、乗船、出港
9:45	南島鮫池	・上陸（安全管理：手袋、靴）、扇池奥へ移動
10:00	扇池奥	・作業説明 ・3地点に分かれて作業
12:00	扇池	・扇池に移動（除去した植物も一緒に）、写真撮影 ・昼休憩
13:00	陰陽池～東尾根	・南島の現状（植生、鳥類など） ・取組の紹介
14:30	鮫池	・荷物、除去した植物を鮫池へ移動 ・乗船、船への積み込み
15:00	青灯台	・帰港、下船、荷卸し次第、解散

## 駆除する植物

作業方法や植物の種類がわからない時は、野性研のスタッフに相談しましょう。



コマツヨイグサ



メヒシバ



シンクリノイガ

# 南島外来植物除去ボランティア

作業場所①

作業場所②

休憩場所

上陸地点

本日、移動・作業する範囲

アツバクコ (広域分布種)

オオハマボス (固有種)

ツルワダン (固有種)

～南島で見られる在来の植物～  
まちがって駆除しない・踏みつけないように注意しましょう。

平成31年4月14日 (日)  
小笠原村

### 美しい景観



### 固有の植物



### 海鳥の楽園



### 貴重な訪花昆虫\*



### 陸産貝類の今昔



食圧や踏圧による植生破壊や土壌侵食  
人の接近による海鳥の営巣エリア縮小や巣の踏み抜き

植物の芽・茎・実の食害  
強い繁殖力による希少植物生育の阻害  
卵やヒナの食害

\* 蜜を集めるため花を利用する昆虫。上記の2種は、グリーンアノールの影響で父島にはほとんどいない。  
訪花利用する植物の生育阻害

### 父島の陸産貝類の危機

#### ニューギニアヤリガタリクスムシが陸産貝類を捕食！

ニューギニアヤリガタリクスムシが、1990年頃に父島北部で確認以降、島内全域で陸産貝類へ壊滅的な影響を及ぼしている。本来の生息地から個体が消失していくことは、種の絶滅に極めて近い状態で、遺産価値を損なうおそれも。



#### ノヤギの食害と人の踏圧



赤土の露出・植生荒廃により裸地化  
\*ノヤギは昭和46年排除完了

#### クマネズミの食害



食べられたアナドリ  
海鳥の卵や希少植物が食べられた！  
食べられた卵

#### 外来植物の繁殖



固有種を押しよけ生育範囲を拡大！

#### 利用ルールの制定と運用 平成14年度～

都と村とで協定を結び、利用経路やガイド同伴・入島禁止期間等を定めた『適正な利用のルール』を制定  
\* 自然保護と利用の両立が可能に植生の回復効果

#### 転石の設置やシバの移植 平成14年度～

利用経路の大部分に転石を設置・周辺のシバを移植  
\* 通行による経路脇の植生の踏み荒れを防止  
\* 表土の露出の防止



#### クマネズミ駆除と影響調査 平成23年度～

##### ネズミ根絶を目指した全島駆除を実施

\* 平成24年1月に初めて殺鼠剤による全島駆除を実施  
\* 生息が確認されるたび、殺鼠剤による駆除を実施  
\* 平成28年12月に根絶を目指した駆除を実施  
平成29年7月に生息を確認  
平成30年1月に全島駆除実施  
平成30年8月に生息を確認



センサーカメラに写るネズミ

#### 外来植物駆除作業 平成18年度～

\* 植物の知識豊富な作業員により人力で駆除  
\* 駆除後にオガサワラアザミなど固有植物の増加を確認  
\* 平成30年度の駆除実績は **1,655.4kg超**  
\* 平成31年度は28回駆除を実施予定



#### マイマイ引っ越し大作戦 検討中

かつてチジマカタマイマイ、アナカタマイマイが生息していた南島に **両種の移植**を検討中。  
【移植検討のために調査中】  
・ 陸産貝類、植生、土壌水分の状況  
・ 外来動物の侵入状況  
・ 移植（補強、再導入）によるリスクの整理 など  
良好な生息環境を再生するため、タコノキの果実の採取と播種を行い、タコノキ群落をつなげることも検討中。



本日はみなさんのお力をお借りして、南島の外来植物駆除を進めていきます！